

労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2024年1月11日発行

No. 608号 (第55期 11号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

各会の紹介と山行報告 第3回 名古屋ありんこ山岳会



雪山トレーニング山行に行ってきました！

今期、名古屋ありんこ山岳会では、冬山合宿（1/7-8）にむけて3回のトレーニング山行を計画しています。

12/24に第1回の千畳敷でのトレーニング山行に行ってきましたので、紹介します。

（次頁につづく）

《目次》

	各会の紹介と山行報告 第3回 名古屋ありんこ山岳会	1
教育部	12/21(木) 第9回教育担当者会議を開きました	3
組織部	平和行進 学習会の案内	3
〃	組織部交流山行の参加者募集(明王山)	4
	趣意書検討委員会(全国連盟) 概要報告	5
	カレンダー	6

(表紙からのつづき)

12/24 (日) 晴れ時々曇り

菅の台バスセンター 7:00 集合 菅の台バス 8:15 → ロープウェイ 9:05 → 千畳敷 9:37 → トレーニング (雪上歩行、滑落停止、懸垂下降、ビーコン操作) → 終了 13:00 → 13:55 ロープウェイ下山

午前中は穏やかな天気でした。午後からは少し風が出てきましたが、予定どおりの訓練を行いました。

以下に、リーダーと初めて参加された新人たちの感想をご紹介します。

(リーダー)

・今回は、新人さんが参加していたので多くの時間を歩行訓練に使いました。今回の雪は表面 10cm ぐらいは柔らかい雪でその下は氷の層があり、アイゼンを蹴り込んでも力が弱いと安定しない難しい雪で新人さんは苦勞したようです。この雪で歩けたことは大きな収穫だと思います。

滑落停止訓練は新人さんが動作を覚えるのによかったと思います。また、半マストでの下降は最初のセットで苦勞したと考えます。足場の悪い雪の上で半マストのセットに苦勞した人が多くいました。いつでもザイルワークができるようこれからもトレーニングを行うのがいいですね。

(新人たち)

・初めての冬山トレーニング山行に参加しました。雪上歩行、滑落停止、その他も思うようには出来ませんでした。皆様のアドバイスのおかげですごく楽しく勉強にもなりました。

・7分間の中央アルプス駒ヶ根ロープウェイを利用し純白の雪化粧をした標高 2,612m の千畳敷へ、快晴の青空の中冬山トレーニングに参加しました。訓練時にはヘルメット、簡易ハーネス着用して、雪上歩行訓練 滑落停止訓練、ロープでの安全確保をおこないました。

私はピッケル操作が全くできませんでしたが、一から教えてもらいました。滑落停止訓練ではピッケルを操作し滑落時の停止と起き上がりを何度も雪の斜面で練習ができました。まだまだ恐怖心が大きく雪上歩行では腰が引けていますが、少しずつ上達していきたいと思いました。今回の千畳敷では雪景色の山の魅力を楽しむことができました。皆様にご指導いただき大変感謝しております。ありがとうございました。



2023 年入会者は 1 名でしたが、入会者を含めこれから雪山にチャレンジする会員がいて頼もしい限りです。

ありんこは、県連の中では少人数な会で中高年が多いですが、和気あいあいと楽しく山行をしています。

また 1 つ歳を取りますが、これからも近郊の山の日帰り登山からアルプスまで四季を通じて「楽しく、安全に！」を心がけ活動したいと思います。

(名古屋ありんこ山岳会 土井)

教育部 12/21(木) 第9回教育担当者会議を開きました

日時：12月21日(木) 19時30分～ (zoom 会議で実施)

参加者：くらら(吉田)、かわせみ(野村)、みどり(澤田)、ありんこ(榊原) 計 4山岳会 4名

(1) 前回議事録の確認

前回議事録を確認しました。

(2) 雪山安全講習会について

気象への関心が高く、講座②は38名の受講がありました。これで、4講座すべて終了しました。実技山行の方は、12/17に日帰りの実技山行を予定していましたが、天候不順で中止となりました。また、1/20-21にテント泊での実技山行を予定していましたが、希望者なしで中止し、1/21を12/17の代替日として、日帰りの実技山行をすることとなりました。

(3) 交流山行について

今回は、1/28ですので、参加の呼びかけをしてくことを確認しました。

御在所岳ですので、公共交通機関+タクシー(相乗り)で行くことが可能です。冬山の足慣らしに多くの方の参加を待っています。

(4) 教育活動に関する意見交換

各会の今後の教育活動に役立つよう、今回は、来期にむけて教育部の会議・交流山行・雪山安全講習会等の活動改善についての意見交換をしました。

- ・交流山行は、山行+ロープワーク等の学習ができてよかった。来期も同様に行ってほしい。
- ・会議でのテーマを決めての意見交換は、各会の現状や取組みが判ってよかった。
- ・年配者向けにグレーディングやメッツの学習と体力測定の実技山行を計画してほしい。

上記の意見が出され、来期の取組みの計画に反映していくこととなりました。

(5) 次回の第10回教育担当者会議を2024年1月25日(木)に19時30分よりzoom会議で実施します。

今期最後の担当者会議となり、総会議案(来期の計画等)を議論しますので、各会から奮って参加をお願いします。

組織部 平和行進 学習会の案内

平和行進の学習会を行います。2023年あいち平和行進はコロナ禍前に比べて大きく参加者を減らしており、これを挽回し以前の規模で平和行進を成功させることが求められています。

昨年12月4日第78回国連総会が開かれ核兵器禁止条約をはじめ、核兵器を扱った決議が21本採択されました。核兵器禁止条約は2017年7月初めて採択され、昨年の国連総会では123ヶ国の賛成で採択されました。条約では核兵器の開発、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用による威嚇などの活動を、いかなる場合にも禁止しています。この条約の成立により世界の世論は核兵器廃絶へ大きく動き出しています。

昨年の国連総会では、この条約にロシア、アメリカなどの核保有国はそろって反対し、米国の核の傘の下にある欧州諸国、そして日本も反対しました。

核兵器廃絶に向けては、平和行進を成功させ日本政府の姿勢を変えさせる必要があります。あいち平和行進の中心的役割を担っている愛知原水協事務局長の話をご直接聞き、認識を広げてみませんか！

日 程： 2024年3月7日（木） 午後7時～8時30分
場 所： 愛知県連盟事務所
講 師： 愛知県原水協事務局長 佐々木氏

申込締切： 3月 5日（火）

Zoom： Zoomで視聴できるようにします。視聴される方は下記アドレスまで、所属会・氏名を明記の上、受信するアドレスを3月5日(火)までに送ってください。

申込先： 吉川 幸一 yabuya2010@kuh.biglobe.ne.jp

企画担当： 労山愛知県連 組織部 吉川幸一

組織部交流山行の参加者募集

各務原アルプス 明王山～八木三山

愛知県勤労者山岳連盟労山(愛知県連)内21所属山岳会からの参加者が集います。県連内各会との交流を深め相互理解を深めましょう。同時に、鈴鹿山系・岐阜県の山や、日本アルプスなどお山の情報や、沢、雪、アルパインなどの情報交換など県内の労山他会の方々と交流を図るのにまたとない良い機会です。他の会の会員との交流を深め、お山活動の輪を広げてみませんか！



コース： JR 坂祝駅～明王山～八木三山～名鉄羽場駅 [歩行時間約6時間]

日 程： 2024年2月4日（日）

集 合： JR 高山線坂祝駅 【am 8：50】 地図：1/25000「犬山」

交 通： 名鉄犬山線新鵜沼にて JR 高山線鵜沼に乗換、JR 高山線坂祝駅
車の場合は新鵜沼駅前 コインパーキング JR 高山線鵜沼にて乗換

申込締切： 1月27日（土）、 装 備： 日帰り山行装備

申込先： 吉川幸一 yabuya2010@kuh.biglobe.ne.jp

主催： 労山愛知県連 組織部 （県連事務局長）吉川幸一

趣意書検討委員会（全国連盟） 概要報告

2024.1.5. 記吉川

今期、全国連盟では趣意書検討委員会を立ち上げ改定作業に着手することになりました。「日本勤労者山岳連盟趣意書」(趣意書)は1978年2月制定され、45年近くに亘って労山運動の指針となり、長きに亘って労山運動を支え、また親しまれてきました。

他方普段使われない言葉もあり難しいとか言われ、時代に合わなくなってきた、といった声も聞かれています。この為はその改定も課題に上がってきていました。発足した委員会では準備会を行いその概要を昨年12月23日の全国理事会に報告しました。

以下、委員会での検討状況や今後の予定を報告します。

委員会の構成：小池事務局長・吉川理事・吉永理事・山本(裕)理事

検討の概要(順不同で)

※1978年の趣意書の完成度は非常に高く、多くの労山会員に深く浸透していることから、全く新規に策定するのではなく、「創立時の趣意書」を労山の60年を振り返る中で見直していくのが良いのではないかと。

※労山は趣意書の5つの活動目標を基礎に活動している。この5つの柱は現時点でも揺るぎないものであると思う。ただ、会員減少に歯止めがかからない状況の中、60年間の労山運動を振り返り総括する事で、21世紀における登山運動のビジョンを作成することは必要な事ではないだろうか。

※趣意書は5つの活動目標、労山運動の基本的な考え方を示し、日本各地に労山の設立を呼びかけ、それに呼応して各地に労山が設立され労山を支える基本的な考え方として全国に浸透し支持されてきた。しかし、労山の組織はどうあるべきか、組織形成・運営の基本的な考え方、労山発展の中心的な課題である会員拡大をどのように進めるか、主意書に盛り込まれている課題はそれぞれどのように進めるのか、つまり組織論・運動論などを示したものではない。

※これらについては、労山の60年間の活動により無数の成果や教訓が現在の労山を支えてきたと言える。これらをまとめて、つまり運動論や組織論をまとめて誰にも分かり易く共有化、普遍化することは必要です。これらについて改定の趣意書に盛り込むのか、別の文書にまとめるかは検討課題である。キーワードは組織と会員の多様性、民主主義、オープンでフラット(個人の尊重、組織の相互尊重、情報公開、荷を分かち合う)等。

※趣意書の活動目標の中で自然保護として取り組むことは、ただ単に山岳自然の範囲で取り組むだけでは不十分、つまり地球環境や温暖化防止、再エネの普及など質的に変わってきている。これを労山としてどう取り取り上げるかは検討すべき事となっている。

※趣意書を文章としてまとめると現在の文体になってしまう。分かり易い言葉で書かれた読みやすい文体も検討すべき事。

※後の日程としては全国総会後に対面で会議を行い、スケジュールを打ち合わせる。

【編集後記】 早々から立て続けに大変なことが起こった年明けでした。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、困難な状況にある方々が一日も早く安心して暮らせる日が来ますこと、心より願っております。(事務局 井土)

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com

Schedule 2024 (3月と4月は次年度の日程(案)です。)

2月			3月			4月		
1	木		1	金		1	月	登山学校理論
2	金	遭対担当⑤	2	土		2	火	
3	土		3	日	第56期総会	3	水	
4	日	積雪期救助訓練実技 組織部交流山行	4	月		4	木	組織担当者会議② 女性部会②
5	月		5	火		5	金	
6	火		6	水		6	土	
7	水		7	木	組織担当者会議① 女性部会①	7	日	交流山行(教育部)
8	木	理事会⑬	8	金		8	月	登山学校理論
9	金		9	土		9	火	
10	土		10	日		10	水	
11	日		11	月		11	木	理事会②
12	月	(建国記念の日)	12	火		12	金	春山合宿連絡会議
13	火		13	水		13	土	登山学校 MC
14	水		14	木	理事会①	14	日	登山学校 MC
15	木	組織担当者会議⑩ 女性部部会⑩	15	金	自然保護担当①	15	月	登山学校理論
16	金		16	土		16	火	
17	土	第36期全国総会	17	日		17	水	
18	日	第36期全国総会	18	月		18	木	
19	月		19	火		19	金	
20	火		20	水		20	土	登山学校 M
21	水		21	木	教育担当者会議①	21	日	登山学校 C
22	木		22	金		22	月	登山学校理論
23	金	(天皇誕生日)	23	土		23	火	
24	土		24	日		24	水	
25	日		25	月		25	木	全国理事会 教育担当者会議②
26	月		26	火		26	金	
27	火		27	水		27	土	
28	水		28	木	全国理事会	28	日	
29	木	理事会⑭	29	金	遭対担当①	29	月	
			30	土		30	火	
			31	日	登山学校理論			